

進路のみかた

伊勢原支援学校

連携支援グループ/進路支援班

令和8年9月発行

第3号

2学期が始まりました。夏季休業中には施設見学会、進路講演会、進路面談等が行われました。大変な暑さでしたが、参加してくださった皆さま、ありがとうございました。これから寒暖差の激しい季節がやってきます。体調管理に気をつけて健康な生活を心がけていきたいものです。

さて本号では、夏季休業中に実施された講演会や見学会の内容についてお知らせいたします。ご不明な点等ございましたら、進路支援班までお気軽にお問い合わせください。

【進路講演会を実施しました!】

「卒業後の就労支援と生活支援について実際の事例から支援策を考える～卒業後の現場から見てくること～」

7月28日、上記をテーマに社会福祉法人伊勢原市手をつなぐ育成会 地域作業所ドリーム 施設長長尾 拓哉様・相談支援専門員柏木 忠祐様をお招きし、サービスの概要や、実際の事例を交えてのお話を頂きました。

-障害福祉サービスについて-

柏木様からは、卒業後に利用できる障害福祉サービスについて説明がありました。障害福祉サービスを利用する際には、相談支援専門員がご本人やご家族の希望を伺いながら「サービス等利用計画」を作成し、一人ひとりに合った支援を組み立てていくことが紹介されました。また、就労移行支援や就労継続支援A型・B型、生活介護、グループホーム、ホームヘルプサービスなど、卒業後の生活を支える様々なサービスについて説明がありました。本人の希望や状況に応じて必要な支援を受けながら、地域で安心して生活していく仕組みが整えられていることをお話しいたさきました。

-卒業後の就労と生活について-

長尾様からは、実際の支援現場の事例をもとに話をいただきました。就労継続支援B型事業所で経験を積み、自信や体力を付けて一般就労につながった事例や、本人の夢や希望を大切にしながら就職へ結び付けた事例などが紹介されました。一方で、働くためには作業能力だけでなく、生活リズムを整えることの大切さも示されました。スマートフォンの利用による夜更かしが原因で通所が不安定になった事例から、「規則正しい生活」が社会参加の土台となることを改めて考える機会となりました。

-在学中に育てたい力-

講演では、卒業後の生活や就労を支える「生きる根っこ」として、次の3つの力が大切であると紹介されました。毎日同じ時間に起き、決まった場所へ通うための「体力・生活リズム」。困ったときに『助けて』と伝えられる「受援力」。自分の得意なことや苦手なことを理解する「自己理解」。

これらは、就労スキル以上に重要な力であり、学校生活や家庭生活の中で少しずつ育てていくことが大切であるとお話がありました。

今回の講演を通して、卒業後の進路や生活は、一人で頑張るものではなく、学校・家庭・関係機関が連携しながら支えていくものであることを改めて確認することができました。講師の先生方からは、「自立とは何でも一人でできることではなく、困ったときに上手に人を頼れること」というメッセージが伝えられました。

今後ともご家庭と学校が連携しながら、生徒たちの将来につながる力を育てていきたいと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【株式会社アマダプランテックを見学してきました!】

7月1日(水)、株式会社アマダの特例子会社である「株式会社アマダプランテック」を保護者の皆様と一緒に見学しました。企業の概要や仕事内容について説明を受けた後、実際の作業現場や働いている方々の様子を見学しました。参加された保護者の皆様からは、「働く姿を見ることで卒業後のイメージが具体的に変わった」「仕事内容や職場環境、支援体制について理解を深めることができた」などの感想が寄せられました。また、働く上で大切な力や求められる社会人としての姿勢について知ることができ、お子さんの進路について考える貴重な機会となりました。

【ソニー希望・光 株式会社を見学してきました!】

8月4日(火)、ソニーグループ株式会社の特例子会社である「ソニー希望・光株式会社」を職員研修の一環として見学してきました。障害者雇用における支援体制や人材育成の工夫について学ぶとともに、実際の作業工程や働く方々の様子を見学しました。企業の方からは、一人ひとりの特性に応じた支援や、様々な業務経験を通して成長を促す取組についてお話を伺うことができました。また、卒業後の進路先として求められる力や働くための心構えについて理解を深めることができ、今後の進路指導やキャリア教育に生かしていきたいと考えています。

【保護者対象施設見学会を行いました!】

8月下旬に、10か所の事業所の見学を実施しました。生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、就労継続支援A型事業所、就労移行支援事業所、グループホームの見学を設定しました。同じ障害支援サービスでも、「作業を沢山行う」ことをポイントにしている事業所もあれば、「ゆったりと過ごす」ことをポイントにしている事業所もありました。実際に足を運んで雰囲気を感じることで、様々な気づきがありました。よりよい進路選択に繋がるよう、今後も引き続きの見学会へのご参加をお願いいたします。

【就労選択支援を知っていますか?】その1

令和7年10月から、「就労選択支援」という新しい障害福祉サービスが始まっています。

本人の希望や得意なこと、適性、必要な支援などを整理しながら、自分に合った働き方や進路を選ぶように支援するサービスです。

＜高等部に入ると一度は耳にする「B型アセスメント実習」とは何が違うの?＞

これまで、就労継続支援B型の利用を検討する際には、「B型アセスメント実習」に参加していました。

これからは、原則としてB型を利用する場合、就労選択支援によるアセスメントを受ける仕組みになります。

イメージとしては・・・

○これまで

「B型を利用するためには?」⇒ B型利用に向けたアセスメント

○就労選択支援（対象はB型利用希望者に限りません）

「自分にはどんな働き方が合っている?」⇒ 本人の希望・得意・適性・必要な支援などを整理

⇒B型を含め、さまざまな進路を検討する

その2につづく